



平成23年4月3日 大般若会

# 雲林寺報

第9号  
2011年夏号  
各妻郡長野原町73  
大洞山 雲林寺  
TEL0279-82-2201

## 合掌

右はほとけ 左はわれと 合わす手の  
中にゆかしき 南無のひとこへの  
日本では昔から、右の掌に仏の心をい  
ただき、左の掌に自分の心をこめてこれ  
をつたり合わせることによつて仏と一  
つになることができるといわれてきまし  
た。

南無とは「私の心を差し上げます。あ  
なたの心を頂戴します。あなたと私は一  
つです。」という言葉であります。  
たしかに静かに端坐合掌して一心に仏  
を拜む時、しみじみと仏の心が味われ  
私たちの心に仏の心とびつたり波調が合  
うように感じられます。合掌の姿が美し  
くすがすがしが見えるのはそのためで  
しょう。  
私ども日本人は生れた時から合掌の姿  
にあふれているのでさほど感じないの  
すが、合掌の姿をはじめて見る外国の  
人々は合掌の姿の美しさに感動するそ  
です。  
毎朝仏前に端坐合掌する習慣を身に  
つけたいものです。それが子どもの目にと  
んないか美しく思え、謙虚にして敬虔な  
心を養うことでしょうか。親が自らの精神  
の向上につとめると共に宗教に対する正  
しい理解をもつて子どもに宗教心を培養  
してゆかなくてはならないし、その出発  
点が合掌礼拝であります。  
仏を拜む時だけでなく、お互いに相手  
の心を右の掌にいただき、自分の心を左  
の手にこめて拝み合いただき、自分の心  
のすくすくそここころの通い合つた美し  
くありますが、人間関係が生れてくるの  
であります。

雲林寺住職  
轟 紀久

8月31日迄募集延期!! 現在雲林寺檀信徒単独で20名申込があります。

## 大本山総持寺御移転100年慶讃報恩参拝と房総半島の旅

総持寺の中心ともいえる仏殿、大雄宝殿  
(だいゆうほうでん) こちらには禅宗の  
本尊である釈迦牟尼如来が祀られていて  
小さな窓から拝み見ることができます。



大雄宝殿

日程:平成23年10月26日(水)  
~27日(木)

ご旅行費:32,000円  
(参拝料、朝食1回、昼食2回  
夕食1回、記念写真代含)

募集人員:90名(全寺院)

申込方法:8月31日迄  
10000円を添えてお申込み下さい。

企画:曹洞宗  
第六教区護持会



総持寺 大祖堂

神奈川県横浜市鶴見区にある曹洞宗大本山  
の寺院。ご本尊は釈迦如来。永平寺となら  
んで曹洞宗の大本山です。当初は石川県輪島市  
(現在は総持寺祖院)に開かれましたが明治  
31年火災により焼失。明治44年に現在地に  
移転。今年移転100年を迎えます。



# 四月からの行事報告

四月三日、当山恒例の雲林寺大般若会、観音堂回向が行われました。今年は東日本大震災により縮小して行いました。大般若会は主に国の繁栄や除災招福を祈願して大般若経六百巻を誦読（どくじゆ）して行われる法会です。永林寺住職、應林寺（みなかみ）住職、香林寺副住職にご協力頂き転読がなされました。お陰様で厳粛な法要となりました。

四月八日は花まつり（お釈迦様の誕生日）。雲林寺梅花講員が集まり、花供養御詠歌、花供養御和讃をお唱えされました。また、本堂には誕生仏を安置し、甘茶をご用意致しました。

八月五日、浅間山の「天明の大噴火」の供養祭が雲林寺参道内で行われました。供養祭の後、本堂内で懇親会が行われました。

## 八月以降行事日程

- 8月14日・・・大施食会
- 9月20日～26日・・・秋彼岸
- 10月10日（体育の日）・・・雲林寺親睦ゴルフコンペ
- 10月26日～27日・・・第六教区護持会旅行
- 11月24日・・・梅花流群馬県大会（伊勢崎文化会館）
- 12月8日・・・釈尊成道会
- 12月31日・・・除夜の鐘



4月3日 大般若会



8月5日天明の大噴火供養祭

ふるとうば  
雲林寺本堂西側（役場側）に「古塔婆入れ」がございまして。こちらに古い塔婆を入れて頂ければ住職がご供養の上お焚き上げを致します。



## 墓地整備のお知らせ

雲林寺橋場墓地（ハツ場ダム建設に伴い移転を余儀なくされた墓地）は昨年墓地の移転がすべて完了致しました。駐車スペースとして墓地の脇を舗装し、道路との境界にフェンスを設置致しました。これにより墓地の敷地がより明確になりました。（写真①）  
道路側中央部分にお地藏様と水汲み場を設置しました。（写真②）このお地藏様も旧墓地より移転致しました。雲林寺敷地内墓地の階段と手すりを塗り直しました。（写真③④）



お地藏様隣に水汲み場がございまして。

## 開山堂位牌修復

開祖像修復に引き続き、位牌三基も修復致しました。写真右より、曹洞宗開祖道元禅師、雲林寺開祖、為景清春大和尚、雲林寺開基海野長門守幸光になります。※開基とは、寺院の創始にあたって必要な経済的支持を与えた在家の実力者のことです。



七月十一日、当山観音堂参拝に、高山村文化協会関係者の方々八〇名様を訪れました。  
○観音堂は正式には「三原郷三四番観音札所」又は「西吾妻三四番観音札所」の最初の第一番札所とされ、現在馬頭観音が堂内に安置されています。



住職の説明を受ける高山村の皆さま

## 願いを叶える 三原郷三十四番 観音札所

「観音の霊地三十三所を巡るものは地獄に落ちる事なし、観音はおん身を三十三身に分ちて縁にしがたい民衆を救う。」との信仰から昔より観音札所巡礼が行われてきました。庶民の間に広まったのは江戸時代の中頃以降といわれ西国三十三番、坂東三十三番、秩父三十三番の百力の札所を周り「百番供養塔」が各所に残されています。しかし、一般庶民にはなかなか容易なことではなかったため、考え出されたのが、身近に観音札所を定め庶民の願いを叶えようとした。そこから三原三十四番札所がはじまりました。  
雲林寺敷地内の観音堂から始まり、与喜屋、応桑、婦恋村、羽根尾、大津、草津、六合村、横壁、川原湯、川原畑、最後に林の滝沢観音堂で願い事を結びとされております。雲林寺には全ての地図、資料等ございますの



# 世話人さん紹介

今回も世話人さんをランダムでご紹介させていただきます。  
①名前②担当地区③趣味・特技④人生で一番嬉しかった事



- ①櫻井敏雄さん
- ②大津
- ③以前バンドでサクソフォンを演奏してました。また、再開する予定です。
- ④無事定年を迎えられたこと。今、生かされていることに感謝しています。



- ①萩原富夫さん
- ②与喜屋
- ③書道(以前は先生をしておりました。) お酒を嗜むこと。
- ④子どもが産まれたこと。女の子が欲しく、望み通り三女に恵まれました。

## シユモク 撞木を新しく致しました。



鐘楼堂(しよつろうどう)の撞木(シユモク)※鐘を撞く木を今年4月末に新しくしました。木の劣化により音が響かなくなっており、調整を新調し何度か位置の調整をしたところ、夕方六時の鐘が鳴り響くようになりました。

毎日住職が撞いており、六時前頃にお越し頂ければ、お納めでも撞くことが出来ますので是非お試しください。

## とうは 塔婆について

ほとんどの仏教宗派では、施食会(せじきえ)・各法要・埋葬、または彼岸の折りに、追善供養のため塔婆(とうは)を建てます。塔婆には亡き人の戒名が書かれ、基本的には各個人の供養のために建てます。塔婆とは、古代インドで使われた梵語(サンスクリット語)のストウーパに由来しています。お釈迦さまの遺骨(舎利)を分けて供養した建物のことをストウーパといいました。ストウーパは仏教が中国を経由中五輪塔になりました。朝鮮・日本に伝わり、五輪塔・五重塔や三重塔の相輪に変化し、仏教のシンボルとして多く建立され現在に至っています。

## 感謝録



手作りのお掛けと帽子

**金五拾萬円 小林喜男様**  
**雲林寺墓地 階段一部新設 宮崎昭央様**  
**六地藏御お掛けと帽子 篠原禮子様**

毎年行われる四月三日の大殿若会の際に合わせ、篠原禮子様が本堂前の六地藏様のお掛けと帽子を手作りで新調して下さいます。お陰様で気持ち良く、大殿若会を迎える事ができます。

裏表 表 裏

表 戒名 ○ 四尊 施主名  
裏 菩薩の名前等 建立年月日

五輪とは地・水・火・風・空で、仏教の世界観や仏の五智を表していると言われています。塔婆もこれを意味しています。塔婆はそれ自体に大いなる功德があり、亡き人や祖先のために、仏の徳そのものである卒塔婆を建てるとその徳が亡き人や祖先に回向されるものと信じられています。

融合 下4つの融合  
呼吸 体温 血液 からだ  
カ(空) 力(風) ラ(火) バ(水) ア(地)

法事ごとに決められた十三仏の一人

年間 盂蘭盆会 彼岸会等

裏のバンの1文字は大日如来

**日本画 吉崎徳蔵様**

吉崎徳蔵様の日本画作品を本堂に寄贈していただきました。素桜社の樹齢一二〇年の野市の素桜を織細かつ大胆に描かれた作品を当山にお越しの際には是非ご覧ください。



「素桜神社の神代桜」作者/寄贈吉崎徳蔵様

## 東日本大震災 南相馬市塔婆工場 無事でした。

当寺のお塔婆は長いこと南相馬市の木工所で注文しておりました。今回の大震災で連絡が取れず心配していましたが、震災数日後電話が通り、津波被害は受けなかったものの、震災と原発の避難騒ぎで従業員がしばらくから業務を再開します。このことでした。七月初めにはお盆用の塔婆が届き、今回の大施食会に間に合いました。

## 原稿募集

来年1月2日に発行される「雲林寺報新年号」は早いもので第10号を迎えます。記念いたしまして、皆様のお寺に関する文章を募集いたします。原稿を是非お寺にお持ち下さい。お待ちしております。



# 梅花流たより



六月七日は、恒例の梅花特派布  
教巡回がございました。

雲林寺を会場に無量院講、常林  
寺講の皆様、郡内寺院御住職、副  
住職様参列のもと九時三十分よ  
り開講式が始まりました。

今年には東日本大震災物故者の  
追善供養も行なわれ、犠牲者のご  
冥福をお祈り致しました。

また、宗務所より会場において  
東日本大震災被災地梅花講に対  
する義援金の呼びかけ、被災地の  
梅花講のために県内梅花講員が  
使用していない法具、教典等の収  
集の呼びかけをしたところ、快く  
ご協力を頂き、ありがとうございました。集まった浄財や法具は  
宗務所経由で被災地の方に送ら  
れるとのことでございます。

暖かい心を本当に感謝申し上  
げます。



8月5日 天明供養祭

雲林寺では毎月2回2時間  
程度ご詠歌(梅花流)の会が  
ございます。参加費無料。  
ご詠歌は、ご供養の気持ちを  
心温まるメロディーにのせて  
歌います。初めての方でも是  
非お気軽にお越しください。  
お待ちしております。

## 梅花講員募集中です。



6月7日 梅花流講習会




4月8日花祭り 釈尊花祭御和讃のお唱え

## お知らせ

十一月下旬に予定されていた「ミヤ  
ノマー寺院巡り六日間の旅」は催行人  
数が満たず、来年秋に延期となりまし  
た。また、詳しい日程など再度お知ら  
せ致します。ご了承くださいます。  
住職

東日本大震災復興支援  
**第3回 チャリティ 雲林寺親睦ゴルフコンペ**  
開催日:平成23年10月10日(月・祝)  
集合:草津カントリークラブ 7:15  
スタート:8:05 募集人員60名  
プレー費:9800円 参加費:2000円  
(ランチ込) (パーティー込)

今年も雲林寺親睦ゴルフコンペが開催されます。  
今年には参加費の内¥1000を東日本大震災復興支援金として赤十字を通し 納  
めさせていただきます。尚、テラーメード所属プロ 稲田優氏をお招きして、ワンポ  
イントレッシングも行われます。プレー終了後は、雲林寺本堂で表彰式、景品授与  
等パーティーを開催致します。お申し込みは各地区の世話人、又は雲林寺へ直接  
お願い致します。ゴルフ好きの皆様のご参加をお待ちしております！！



テラーメード  
所属プロ  
稲田優氏

## 編集後記

二歳半になる息子とNHKEテレ(教  
育テレビ)の「にほんごであそぼ」とい  
う番組を観ていると「和を以って貴し  
と為す」という聖徳太子のことが出て  
まいりました。  
キリスト教は「愛」を大切に、仏教  
あるいは日本人は「和」を大切にします。  
仏教僧の集まり(教団)は和合僧、和  
合衆と呼ばれています。和は穏和、調和、  
協和、平和、やわらいだ心です。  
いつも和顔愛語、おだやかな顔と、や  
さしい顔と、やさしい言葉、を忘れない  
ようにしたいものです。  
人は和合しなければ鳥合(うごう)の  
衆です。

副住職 轟 省吾

## 8月19日草津温泉湯畑周辺 托鉢開催



今年十九日、群馬県曹洞宗青  
年会主催による托鉢が草津温泉  
湯畑周辺にて十四時より十六時  
まで行われます。この托鉢は  
東日本大震災による復興支援の  
ためのものです。  
青年会ではこの托鉢の他、高  
崎駅前やぶんぶく茶釜の茂林寺  
でも行われ、浄財を被災地へ納  
めさせて頂いております。青年  
会員の中には被災地へ直接足を  
運び、犠牲者の供養やボラン  
ティア活動をする者もおります。  
副住職